

生活支援コーディネーターの一日

1 月号

諫早市中央部地域包括支援センター 生活支援コーディネーター(SC) 岩田 明子



新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。

「高齢になっても、一人暮らしになっても、住み慣れた地域で、いつまでも自分らしく暮らし続けたい!」
という想いを多くの皆さんが持っているのではないのでしょうか。

今回は、ご自身の特技を活かして地域に貢献したり、近所の方との繋がりを持ちながら一人暮らしをされている90代の男性にお話を聞きましたので、紹介します。

市民センター 絵手紙教室

退職前から、講師を続けています。



原口町絵手紙教室 「みずえの会」

「住み慣れた
原口町に貢献
したい!」と

R5年から
原口町公民館で
絵手紙教室を
開いて講師を
しています。



公文さん

原口町に一人暮らし
元々は美術の先生

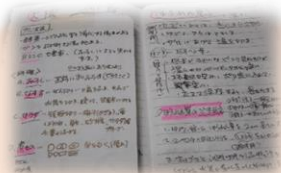


近所に住む
男性

いつも畑で穫れた野菜の差し入れをしてくださっています。

そのお返しに公文さんがおでんを作っておすそ分けしていたとのことでした。男性より「昨日のおでん、美味しかったです~!」と声があり、お話が盛り上がっていました。

公文さんのお料理ノート
「時間はかかるけれど、
楽しみながらやっています。」



老人クラブ



誕生月の会員さんへ
公文さんが絵手紙を
描いてプレゼントして
います。

民生委員



毎月自宅へ訪問
みずえの会のサポート

近所に住む 女性



毎週月曜日の生協の
注文の品の受け取りを
忘れないように声をか
けてくださっています。

お話を聞いていると、公文さんにはたくさんの繋がりがあることがわかりました。90代になっても、一人暮らしでも、公文さんのように近所の方と繋がりながら、自分の特技を活かして生活をされている姿とても素敵ですよ! 「楽しいことをしていたら、いつかお返しをもらえると思っています」という言葉が印象的でした。私にも絵手紙のプレゼントをしていただき、ありがとうございました!! 皆さんが住む地域にも、高齢になっても地域の方との繋がりを保ちながら自宅で元気に暮らし続けたい方や繋がりの方等があるのではないかと思います。ぜひお話を聞かせてください!

